

# 日本比較教育学会 第55回大会プログラム

*Japan Comparative Education Society  
The 55th Annual Conference*

日時：2019年6月7日(金)～9日(日)

場所：東京外国語大学

主催：日本比較教育学会

## 《 大 会 日 程 》

	6月7日 (金)	6月8日 (土)	6月9日 (日)
8:00		8:00～ 受付 (研究講義棟103)	8:00～ 受付 (研究講義棟103)
9:15		9:15～11:45 自由研究発表 I (研究講義棟)	9:15～11:45 自由研究発表 III (研究講義棟)
10:00		I - 1(209) I - 2(211) I - 3(212) I - 4(213) I - 5(214) I - 6(218) I - 7(219) I - 8(221) I - 9(223) I - 10(224)	III - 1(209) III - 2(211) III - 3(212) III - 4(213) III - 5(214) III - 6(218) III - 7(219) III - 8(221) III - 9(223) III - 10(224)
11:00		11:50～12:30 紀要編集委員会 (研究講義棟 214)	11:45～12:30 昼食
12:00	12:00- 受付 (事務棟2階中会議室)		11:45～12:30 昼食
	12:30-14:30 常任理事会 (事務棟2階中会議室)	12:35～14:35 自由研究発表 II (研究講義棟)	12:35～14:35 自由研究発表 IV (研究講義棟)
13:00		II - 1(209) II - 2(211) II - 3(212) II - 4(213) II - 5(214) II - 6(218) II - 7(219) II - 8(221)	IV - 1(209) IV - 2(211) IV - 3(212) IV - 4(213) IV - 5(214) IV - 6(218) IV - 7(219)
14:00	14:45-17:30 全国理事会 (事務棟2階中会議室)		
15:00		14:45-16:45 公開シンポジウム (アゴラグローバル内 プロメテウス・ホール)	14:50-17:10 課題研究 I (研究講義棟・226)
16:00			課題研究 II (研究講義棟・227)
17:00	17:30- ラウンドテーブル 受付(研究講義棟103)	17:00-18:30 総会 (アゴラグローバル内 プロメテウス・ホール)	
18:00	18:00-20:00 ラウンドテーブル (研究講義棟) 1(102) 2(209) 3(212) 4(213) 5(214) 6(218) 7(219) 8(221) 9(223) 10(224) 11(225)	18:40-20:30 情報交換会 (大学食堂)	
20:00			

## 大会参加者へのご案内

### 1 受付

大会受付は、6月7日（金）は17時30分より、8日（土）・9日（日）は8時より、研究講義棟1階103において行います。6月7日（金）午後の常任・全国理事会の受付は、12時より事務棟2階中会議室にて行います。

### 2 大会参加費等

大会参加費は、通常会員・臨時会員 5,000 円（事前振込 4,000 円）、学生会員 4,000 円（事前振込 3,000 円）となります。また、情報交換会参加費については、通常会員・臨時会員 4,000 円（事前振込 3,500 円）、学生会員 3,000 円（事前振込 2,500 円）となります。

\*事前申込・事前振込の受付は、2019年5月20日（月）18時が締切となります。

大会参加申込システム SOLTI (<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/JCES>) から申込を行って下さい。

### 3 大会本部

研究講義棟1階に設置します。

### 4 会員控室

研究講義棟1階に設置しますのでご利用ください。

### 5 託児室

授乳室及びお子様連れの会員のための共同のスペースを研究講義棟1階105に設ける予定です（但し、教室の確保が難しい場合は、そうしたスペースを設けることができない可能性があることをご理解下さい。）なお、大会事務局では託児サービスを行いませんので、お子様連れの場合は個々でご対応をお願いいたします。

### 6 常任理事会・全国理事会・紀要編集委員会

常任理事会は6月7日（金）12時30分より、全国理事会は同日14時45分より事務棟2階中会議室にて行います。紀要編集委員会は8日（土）11時50分より研究講義棟2階214にて行います。

### 7 大会期間中の昼食

昼食は、大会開催期間中は、食堂は営業していません。近くのコンビニまたはレストランをご利用ください。とくにお弁当の準備はいたしませんことをご了承ください。

### 8 情報交換会会場

6月8日（土）18時40分より食堂にて情報交換会を開催します。キャンパス案内をご確認の上お越しください。

## 自由研究発表について

### 1 発表時間

個人研究発表の時間は、発表 20 分、質疑 10 分の計 30 分となります。共同研究発表の場合は、30 分（発表 20 分、質疑 10 分）もしくは 60 分（発表 40 分、質疑 20 分）です。各部会での総括討論はありません。発表者も移動していただいて結構です。なお、各発表の間には休憩時間を設けておりませんので、ご注意ください。司会者の方には、質疑時間の有効な活用をお願いいたします。

### 2 発表資料

発表の際に配布する資料は、あらかじめご用意の上、各会場係にお渡しください。会場係が配布いたします。なお、会場でのコピーのご要望には応じられませんので、ご了承ください。

### 3 発表用機器

パソコンとプロジェクターは会場に設置しております。個人用パソコンのご使用は、発表申込時にご連絡いただいた方のみに限らせていただきます。なお、Mac を使用される方はコネクターをご自身でご準備くださいますよう、お願いいたします。

### 4 発表取り消しの場合

速やかに大会事務局にご連絡下さい。なお、発表取消の場合、時間の繰上げは行いません。日本比較教育学会第 55 回大会事務局

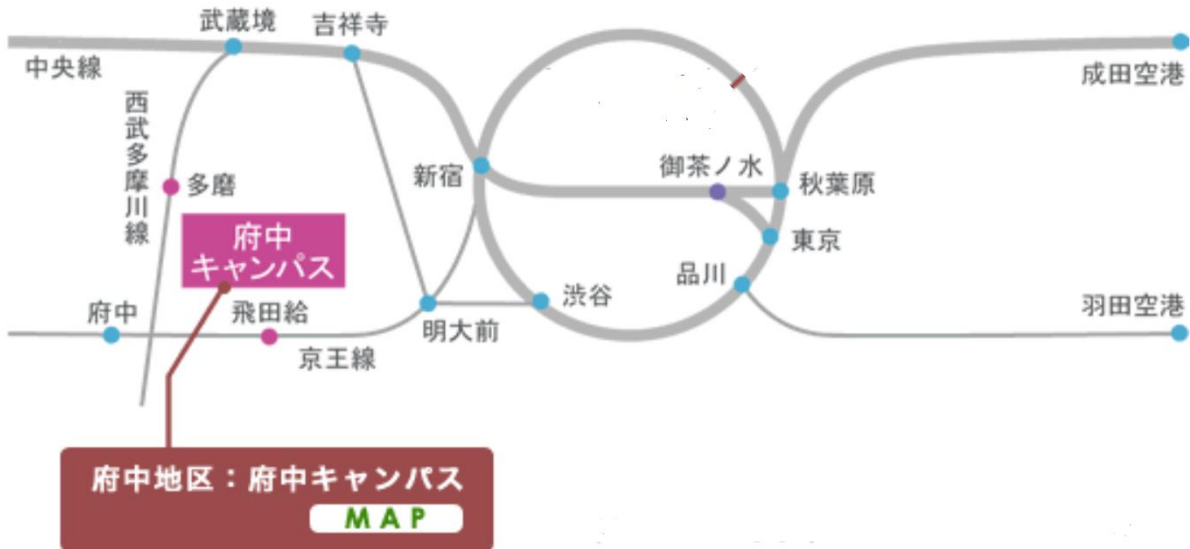
〒183-8534 東京都府中市朝日町 3 丁目 11-1 東京外国語大学・岡田昭人研究室気付

E-mail: jces55tufs@gmail.com

## 交通のご案内

※交通公共機関をご利用ください。

東京外国語大学(府中キャンパス)へのアクセス



### 最寄り駅から



#### ◆JR中央線

「武蔵境」駅のりかえ  
西武多摩川線「多磨」駅下車  
徒歩5分

(JR新宿駅から約40分)

#### ◆京王電鉄

「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分

「東京外国語大学前」下車

府中キャンパス 〒183-8534 東京都府中市朝日町3丁目11-1

府中キャンパス アクセスマップ <http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/contactus/access.html>

# キャンパスのご案内

## キャンパスマップ



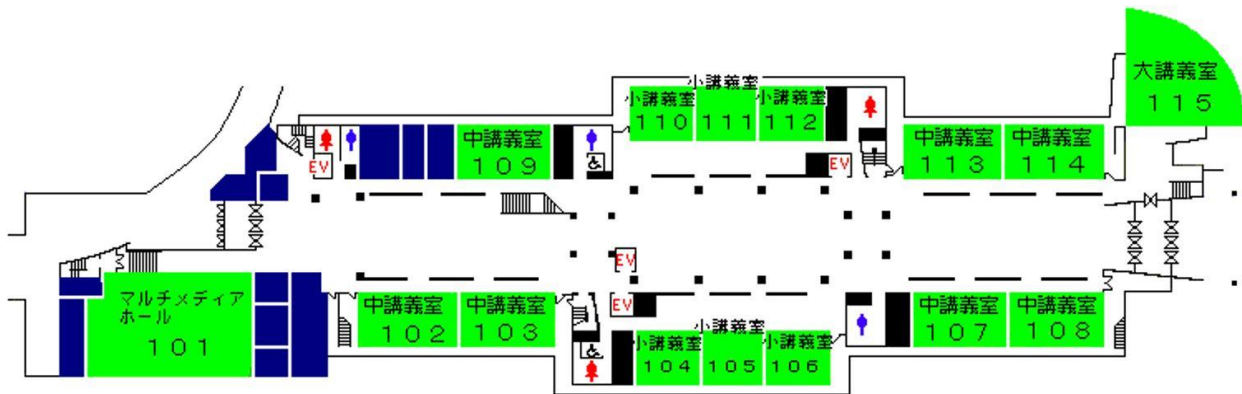
②アゴラ・グローバル内  
プロメテウス・ホール  
公開シンポジウム・総会

④本部管理棟  
常任理事会・全国理事会

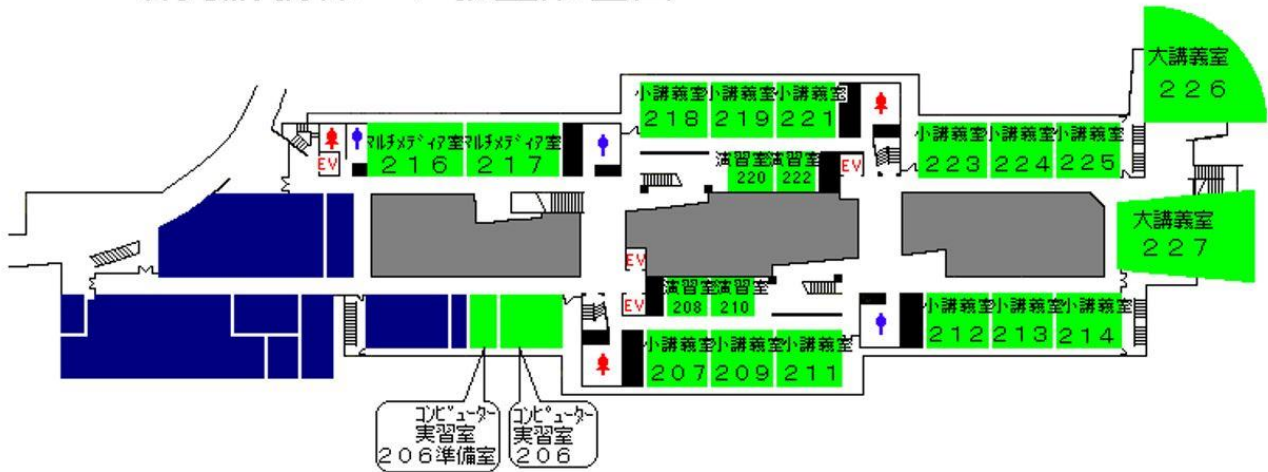
⑨研究講義棟  
ラウンドテーブル  
自由研究発表  
課題研究Ⅰ・課題研究Ⅱ

⑧学生食堂  
懇親会会場（1F）

## 研究講義棟 1 F 教室配置図



## 研究講義棟 2 F 教室配置図



他参考：

キャンパスガイドマップ [PDF] <http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/contactus/campusmap.html>

## 自由研究発表

6月8日（土） 自由研究発表 I		6月9日（日） 自由研究発表 III	
（午前） 9：15～11：45		（午前） 9：15～11：45	
I-1 理論・思想・歴史/研究方法	209	III-1 初等・中等教育（2）	209
I-2 教育の経済/教育の機会	211	III-2 開発と教育	211
I-3 初等・中等教育（1）	212	III-3 東アジア地域（2）	212
I-4 教師教育・教員問題	213	III-4 東南アジア地域（3）	213
I-5 国際教育・教育交流（1）	214	III-5 東南アジア地域（4）	214
I-6 東アジア地域（1）	218	III-6 南アジア地域	218
I-7 東南アジア地域（1）	219	III-7 中央アジア地域	219
I-8 東南アジア地域（2）	221	III-8 アフリカ地域（2）	221
I-9 アフリカ地域（1）	223	III-9 北アメリカ地域	223
I-10 ヨーロッパ地域（1）	224	III-10 Comparative and Intercultural Education	224
6月8日（土） 自由研究発表 II		6月9日（日） 自由研究発表 IV	
（午後） 12：35～14：35		（午後） 12：35～14：35	
II-1 教育改革・教育計画	209	IV-1 教育と地域社会	209
II-2 高等教育（1）	211	IV-2 高等教育（3）	211
II-3 高等教育（2）	212	IV-3 高等教育（4）	212
II-4 生涯学習	213	IV-4 多文化教育（2）	213
II-5 国際教育・教育交流（2）	214	IV-5 多文化教育（3）	214
II-6 多文化教育（1）	218	IV-6 国際教育・教育交流（3）	218
II-7 宗教と教育	219	IV-7 ヨーロッパ地域（3）	219
II-8 ヨーロッパ地域（2）	221		

## シンポジウム・課題研究

6月8日（土） 14：45～16：45		6月9日（日） 14：50～17：10	
公開シンポジウム	（アゴラ	課題研究 I	226
	グローバル内 プロメテウス・ ホール）	課題研究 II	227



## ラウンドテーブル

2019年6月7日（金） 18：00－20：00

**【研究委員会企画】比較教育学を学ぶ人のためのアカデミック・キャリアシリーズⅡ**  
—大学院時代にどう成果を上げるか・大学院時代をどう乗り切るか—

企画者: 鴨川 明子(山梨大学) 市川 桂(都留文科大学)

司会者: 乾 美紀(兵庫県立大学)

発表者: 内海 悠二(名古屋大学) 江田 英里香(神戸学院大学)

武 小燕(名古屋経営短期大学) 佐藤 裕紀(新潟医療福祉大学)

内容説明: 研究委員会企画による若手支援企画の第二弾。大学院生やポストク時には、いつどのような形で留学するとよいか、就職するための業績を考えた方がよいか、博士論文執筆に集中した方がよいか、と悩みはつきない。今回は、学会員のキャリア形成のリアル(研究のリアル)についてうかがいながら、自由に意見交換する場としたい。

**アジア地域の大学の国際化と評価**  
—大学組織の国際化と評価指標の在り方について考える—

企画者: 渡部 由紀(東北大学)

司会者: 北村 友人(東京大学)

発表者: 北村 友人(東京大学) 渡部 由紀(東北大学)

太田 浩(一橋大学) 野田 文香(東北大学)

内容説明: 大学国際化とその評価に関する研究は欧米を中心に展開されてきたが、高等教育市場のグローバル化が進み、近年アジア地域に焦点をあてた研究も活発になってきている。本ラウンドテーブルでは、まず、アジア地域における国際化の評価指標群構築に関する2つの研究結果を報告し、次に日本の大学を対象にすでに活用されている2種類の国際化評価の目的や指標群の役割等について概観する。その上で、大学における国際化の重要性が高まる中、国際化を評価する目的、および国際化の進捗状況をモニターし、評価するための指標(群)の在り方について議論したい。

ニューカマーの子どもに対する言語教育の現状と課題  
—公用語教育と母語・継承語保持をめぐって—

企画者: 所澤 潤 (東京未来大学)

司会者: 所澤 潤 (東京未来大学)

発表者: 所澤 潤 (東京未来大学) 江原 裕美 (帝京大学) 澤野 由紀子 (聖心女子大学)  
日暮 トモ子 (目白大学)

内容説明: 科研課題「異文化対応能力育成教育と外国人児童の就学促進—先進諸国の多文化的教室の現場から—」の研究成果の一端を公開し、併せて、現在の小学校日本語教育の抱えている問題を国際比較によって明瞭化する。

自分を見つけるESD(持続可能な開発のための教育)  
—留学生ライフストーリー本からの考察—

企画者: 山田 肖子 (名古屋大学)

司会者: 山田 肖子 (名古屋大学)

発表者: 永田 佳之 (聖心女子大学) 山崎 瑛莉 (上智大学) 林 真樹子 (聖心女子大学)

内容説明: 3月に発売された「世界はきっと変えられる—アフリカ人留学生のライフストーリー」(明石書店)を題材に、ESDやアクティブ・ラーニングについて考察する。ライフストーリーを取り上げたアフリカから来た若者たちは、紛争や貧困を経験し、日本の若者なら諦めてしまうような状況を、創造力とバイタリティで切り拓き、大きな夢を語る。彼らの目を通して、アフリカ、開発、文化、政治、経済といった社会の諸相を見たら、若者のキャリア選択、学問の可能性をもっと自由に考えられるのではないか、そんな思いから本書を作成した。等身大の人物からの触発や共感を通じて、自己を振り返ったり、多文化理解、共生といった抽象概念を行動変容につなげる可能性はあるのか。本ラウンドテーブルでは、ESDの専門の観点からこの命題について問題提起していただくとともに、大学での実践型教育や講義での活用例を紹介する。また、本書でインタビューを受けた留学生の視点からも発言してもらうこととする。

---

### Demand-side Financing on ECCE in Cambodia, Lao PDR and Viet Nam

Organizer : Keiichi Ogawa (Kobe University)

Chair : Aiko Sakurai (Toyo Eiwa University)

Presenters : Keiichi Ogawa (Kobe University) Akemi Ashida (Waseda University)

Katsuki Sakaue (Osaka University) Chea Phal (Kobe University)

Meng Xiamdong (Kobe University)

Description: Despite the established benefits of investing in early childhood care and education (ECCE) and the global commitment, it is still a sub-sector that is seriously underfunded in the Asian region. Public spending is often not sufficient, and external funding is at times not large enough and not sustainable. However, a few studies have been conducted to identify specific challenges and innovative practices for financing ECCE considering the detailed contexts of Cambodia, Lao PDR and Viet Nam. Against this background, this roundtable session explores the demand-side financing on ECCE and policy recommendations on innovative financial partnership for the three countries.

### 日本の国際教育協力の歴史と展望

企画者: 萱島 信子 (独立行政法人 国際協力機構)

司会者: 黒田 一雄 (早稲田大学)

発表者: 萱島 信子 (独立行政法人 国際協力機構)

斉藤 泰雄 (国立教育政策研究所 名誉所員)

吉田 和浩 (広島大学) 杉村 美紀 (上智大学) 石田 洋子 (広島大学)

丸山 英樹 (上智大学) 島津 侑希 (名古屋大学) 辻本 温史 (JICA 研究所)

内容説明: JICA 研究所は、技術教育/職業訓練、高等教育、基礎教育の分野で多様な展開をみせてきた日本の国際教育協力の資料を分析し、記録に残す試みを行なっている。本セッションでは、この「日本の国際教育協力の歴史」研究に携わった研究者がその成果を踏まえつつ、今後の日本の国際教育協力のあるべき姿について参加者とともに自由な議論を行いたい。

中国の教育政策の計画立案および実施の過程に関する考察  
—中央政府と地方政府の関係性に焦点を当てて—

企画者: 劉 靖 (東北大学)

司会者: 金 龍哲 (神奈川県立保健福祉大学)

発表者: 劉 靖 (東北大学) 盧 中潔 (お茶の水女子大学大学院) 大和 洋子 (広島大学)

内容説明: 中国においては、改革開放40周年を過ぎ、急速な経済発展に必要な教育改革が行われている。教育政策の過程において地方分権化が進められてきているにもかかわらず、中央集権的な局面が残されているとの批判がある。近年、中国の教育における中央政府によるコントロールと、地方政府に与えられた裁量権の間に生じる葛藤に、多くの注目が集まっている。このような背景を踏まえて、本ラウンドテーブルでは、中国の教育政策の計画立案および実施の過程における事例を取り上げ、中央政府と地方政府の関係性を検討する。

中韓との比較から日本の特別入試を考える

企画者: 小川 佳万 (広島大学)

司会者: 小川 佳万 (広島大学)

発表者: 松本 麻人 (名古屋大学) 小野寺 香 (奈良女子大学) 姜 姫銀 (広島大学大学院)  
石井 佳奈子 (広島大学大学院)

内容説明: 日本を含めて東アジア諸国では大学入試制度改革が進行している。そのポイントの一つは「伝統的な学力」以外の学力を評価するための選考方法の妥当性にあるといえる。今回はこの点に関する韓国と中国の事例から日本の課題を参加者とともに考えていきたい。

## 比較諸学の対話

## — これからの比較教育学を考える (5) —

企画者: 関口 洋平 (広島大学)

司会者: 関口 洋平 (広島大学)

発表者: 荻巢 崇世 (東京大学) 橋本 憲幸 (山梨県立大学)

内田 直義 (名古屋大学大学院)

内容説明: 本企画は、若手の会員が学び合い比較教育学の知を発展させる「場」を作りたいという思いから提案したものである。第5回目の今回は、比較を学問名に冠する比較諸学のなかでも比較政治学を取り上げ、比較教育学との対照を試みる。比較諸学が共通に抱える「むずかしさ」(体系的性、方法論、位置づけ)や比較教育学の固有性について考えてみたい。

## 発展途上国における教育の普遍化と格差

企画者: 澤村 信英 (大阪大学)

司会者: 澤村 信英 (大阪大学)

発表者: 園山 大祐 (大阪大学) 日下部 達哉 (広島大学) 大場 麻代 (帝京大学)

小川 未空 (広島大学)

内容説明: 多くの発展途上国において、初等・中等教育の普遍化が進展する一方で、種々の国内格差が生起している。本研究プロジェクトでは、今後4年間にわたり、アフリカ8か国、アジア4か国においてフィールド調査を行い、教育の普遍化と格差の構造を解明することを全体目的としている。この背景には、持続可能な開発目標(SDGs)の第4目標、「全ての人々に包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」、および同目標の第1ターゲットとして、「適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等・中等教育の普遍化を達成すること」がある。普遍化と格差拡大が同時進行する中で、教育の質や学習成果にどのように関係するのだろうか。

### これからのアジア・アフリカ教員政策の話をしよう

企画者: 川口 純 (筑波大学) 興津 妙子 (大妻女子大学)

司会者: 牧 貴愛 (広島大学)

発表者: 牧 貴愛 (広島大学) 小原 優貴 (東京大学) 川口 純 (筑波大学)  
興津 妙子 (大妻女子大学)

内容説明: 企画者らは途上国世界における教員政策と国際協力の動向について研究領域の垣根を超えて協働で取り組んでいる。本ラウンドでは、これからのアジア・アフリカ教員政策、教師教育研究の射程、資格について発表者が話題提供を行い、参加者の皆さんとともに議論を深める。

## 自由研究発表 I

2019 年 6 月 8 日（土） 9 : 15 - 11 : 45



公開シンポジウム

多言語・多文化教育社会のゆくえ — 大学・行政・地域社会の取り組みと課題 —

日時：2019年6月8日（土） 14時45分～17時45分

場所：アゴラグローバル内 プロメテウス・ホール

趣旨説明・司会：岡田昭人（東京外国語大学）

パネリスト

「東京外国語大学多言語・多文化教育研究センターの活動

—東日本大震災時の多言語対応を中心に—」

青山亨（東京外国語大学大学院総合国際学研究院長 元本学多言語・多文化教育研究センター長）

「多文化社会と学生のボランティア活動」

萩尾生（世界言語社会教育センター教授、ボランティア活動スペース（VOLAS）室長）

「伸ばすために測る — DLA（Dialogic Language Assessment）の理念」

菅長理恵（東京外国語大学大学院国際日本学研究院教授）

「公立中学校学習支援活動現場から

— 海外からの転入生の実態とその対応における協働の可能性」

辻由美（NPO 法人 地域教育ネット理事）

<論点>

グローバル化が急速に進行する現在、日本人が言葉や文化の異なる人々との結びつきを深め、安定した社会を形成するためには、どのような能力が求められているのか。本シンポジウムでは多言語・多文化社会の到来に向けて大学・地域社会・行政の教育的取り組みや支援のあり方を広く紹介し、また現在直面する課題と今後の協働施策について考える場所にしたい。先ず、司会の岡田昭人から趣旨説明、続いてパネルディスカッション、最後にフロアとの質疑応答に入る。

青山氏は東京外国語大学に設置された多言語・多文化教育研究センターの2006年度から2015年度までの活動を概観したうえで、とくに2011年3月11日に発生した東日本大震災時の多言語翻訳・情報提供の活動を振り返り、そこから得られた教訓を報告する。

次に萩尾氏は、学生が、日本語学習支援等のボランティア活動を通じて、多言語・多文化社会の現実にふれながらさまざまな知見を得ていることの意義と、大学としての支援のあり方について考察する。

菅長氏は「伸ばすために測る-DLAの理念」と題して、学校教育現場で活用できる評価法として開発されたDLAが、どのような理念に基づき作成され、現在、どのような形で活用されているかについて報告する。

辻氏は10年間携わってきた公立の中学校で学習支援活動の紹介をしながら、現場から見える子どもに関する課題を検討する。日本に移住後、言葉や文化の壁に加え、独特の学校文化に戸惑い、不適応を起こしてしまう子どもの事例を紹介しながら、どのように協働したら彼らの力を伸ばしていけるのか、その可能性を探求する。

自由研究発表 I-1

6月8日(土) 9:15~11:15

教室: 209

**理論・思想・歴史 / 研究方法**

司会: 一見真理子(国立教育政策研究所)

- 9:15 - 9:45      インドネシア賠償留学生と国際学友会日本語学校の役割と意義  
— 元留学生へのインタビュー調査からの考察  
奥村 恵介(名古屋大学大学院)
- 9:45 - 10:15      ポル・ポト政権期後カンボジアにおける主要教科の歴史的意義  
— 教師と元児童に対する聞き取り調査から  
千田 沙也加(名古屋短期大学(非))
- 10:15 - 10:45      比較教育学における「事実」と「価値判断」の意識的分離の必要性について  
石井 大智(香港中文大学大学院)
- 10:45 - 11:15      国際教育開発は倫理的でなければならないか  
— 文化帝国主義と新自由主義  
橋本 憲幸(山梨県立大学)
- 

自由研究発表 I-2

6月8日(土) 9:15~11:45

教室: 211

**教育の経済 / 教育の機会**

司会: 斎藤泰雄(国立教育政策研究所名誉所員)

- 9:15 - 9:45      ブラジルの高等教育における機会均等化政策に関する一考察  
— 1990年代からの成果と課題  
山口 アンナ真美(北海道教育大学(非))
- 9:45 - 10:15      フィリピンの技術職業高校教育の所得、雇用、仕事満足度への影響  
山崎 泉(学習院大学)
- 10:15 - 10:45      チャータースクールがホームスクーリングに及ぼした影響に関する一考察  
中島 千恵(京都文教大学)
- 10:45 - 11:15      ヨルダンにおけるシリア難民とホスト社会住民を対象とした補習授業の役割と  
意義  
○小松 太郎(上智大学)  
○石坂 明日香(特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン)  
○服部 紗代(特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン)
- 11:15 - 11:45      1960年代ブラジルにおける教育分野の開発援助  
江原 裕美(帝京大学)

**初等・中等教育(1)**

司会: 三輪千明(広島大学)

- 9:15 - 9:45 高等学校の遠隔教育に関する日中比較研究  
林 静(東京外国語大学大学院)
- 9:45 - 10:15 バングラデシュ小規模少数民族における学校教育制度受容のプロセスに関する  
考察  
— 3郡のクミ村落の比較から  
田中 志歩(広島大学大学院)
- 10:15 - 10:45 外国人児童生徒のニーズに応じた教育課題に関する研究  
— 中国朝鮮族による子どもへの教育に関する取り組みの分析を通して  
李 紅実(東京学芸大学)
- 10:45 - 11:15 インドネシアにおける小学校英語の現況と課題  
鈴木 康郎(高知県立大学)
- 11:15 - 11:45 初等教育における留年・転校・退学要因の実証的分析  
— マラウイの児童を追跡調査して  
谷口 京子(名古屋大学)
- 

**教師教育・教員問題**

司会: 伊井義人(藤女子大学)

- 9:15 - 9:45 シンガポール日本人学校の拡大した同僚性に関する一考察  
中島 ちさと(筑波大学大学院)
- 9:45 - 10:15 グローバルな授業実践比較から教員力量向上へのアプローチに関する研究  
— 日中の小学校での「同課異構」の示唆を中心に  
董 芳勝(創価大学)
- 10:15 - 10:45 諸外国における21世紀型スキルに対応した教員研修の展開  
○日暮 トモ子(目白大学) 鴨川 明子(山梨大学)  
佐藤 裕紀(新潟医療福祉大学) 長島 啓記(早稲田大学)  
古阪 肇(文部科学省) 吉田 重和(新潟医療福祉大学)
- 10:45 - 11:15 イタリアにおける教師教育プログラム  
— 異文化教員の養成と研修  
杉野 竜美(神戸医療福祉大学)
- 11:15 - 11:45 日本型教師教育の海外移転  
— 国際教育協力を着目して  
○小野 由美子(早稲田大学) 前田 美子(大阪女学院大学)

## 国際教育・教育交流(1)

司会: 柳田雅明(青山学院大学)

- 9:15 - 9:45 日本での導入過程における IB 教育と探究型学習の比較研究  
— 日本語ディプロマ・プログラム(DP)の教授法に着目して  
羽田 良之(筑波大学大学院)
- 9:45 - 10:15 高次思考の問いを中心とした授業での言語運用力と批判的思考力育成の有効性  
— 国際バカロレア教育における言語教育を切り口として  
赤塚 祐哉(早稲田大学本庄高等学院)
- 10:15 - 10:45 Assessment Practices of Classroom Teachers in Two Asian Countries:  
International Perspectives for Teacher Professional Development  
Waqas A. Khan (Hiroshima University)
- 10:45 - 11:15 Exploring the Impacts of Study Abroad on Japanese Students' Beliefs and Values:  
What can the BEVI instrument tell us about their psychological changes?  
Nagai, Atsushi (Hiroshima University)
- 

## 東アジア地域(1)

司会: 小川佳万(広島大学)

- 9:15 - 9:45 多元文化社会における少数民族教育の現状  
— 中国内モンゴル自治区の少数民族教育を中心に  
ナンディン(東京外国語大学大学院)
- 9:45 - 10:15 中国の土家族居住地における二言語教育に関する一考察  
程 薇嘉(名古屋大学大学院)
- 10:15 - 10:45 機関特性と学生の進学動機から見た中国地方重点大学3機関の機能分化  
— S省のA大学を例として  
田 稼之(早稲田大学大学院)
- 10:45 - 11:15 文化大革命後の中国内モンゴルにおける仏教僧侶養成の復興と変容  
— 内モンゴル仏教学校に焦点を当てて  
阿如汗畢力格(名古屋大学大学院)
- 11:15 - 11:45 韓国の大学入試改革における「公論化」の争点  
姜 姫銀(広島大学大学院)

## 東南アジア地域(1)

司会: 池田充裕(山梨県立大学)

- 9:15-9:45 シンガポールにおける言語選択事情  
— 多言語環境における日本語継承教育を考える  
重松 香奈(東京外国語大学大学院)
- 9:45-10:15 ラオスにおける学校に行けない子どもたち(OOSCY)とは  
— 「7つの基本方針」の達成に向けた課題と教育協力  
乾 美紀(兵庫県立大学)
- 10:15-10:45 カンボジアの前期中等教育における学外補習指導に影響を与える諸要素に関する研究  
正楽 藍(神戸大学)
- 10:45-11:15 タイの労働市場が望む人材育成に資する日本語教育発展の方向性  
— モンクット王ラカバン工科大学教養学部言語学科日本語専攻課程を事例に  
○富田 紘央(東海大学国際教育センター)  
ラープスイサワット ニダー(King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang)
- 11:15-11:45 カンボジアにおけるカンニング行為  
— 小学校から高校に至るまでの経験に着目して  
前田 美子(大阪女学院大学)

## 東南アジア地域(2)

司会: 森下稔(東京海洋大学)

- 9:15-9:45 東ティモール民主共和国における教授言語政策の政策形成プロセスに関する分析  
— Mother Tongue-Based Multilingual Education を事例に  
須藤 玲(上智大学大学院)
- 9:45-10:15 インドネシアの Integrated Islamic School にみる人間像  
— ハサン・バンナーの思想との関連に着目して  
Azmi, Mukhlisah(名古屋大学大学院)
- 10:15-10:45 インドネシアの法学教育と法曹養成  
— 一般系総合大学とイスラーム大学の比較の観点から  
○服部 美奈(名古屋大学) ○神内 陽子(元名古屋大学大学院)
- 10:45-11:15 修学パターンからみる、カンボジアにおける修学実態  
— 留年と退学のパターンからの考察  
○芦田 明美(早稲田大学) Chea, Phal(神戸大学大学院)
- 11:15-11:45 フィリピンにおける貧困や災害を乗り越える学校、家庭、地域の再構築

— 学校教育・価値教育の再検討の観点から 長濱 博文 (桐蔭横浜大学)  
自由研究発表 I-9 6月8日 (土) 9:15~11:45 教室: 223

### アフリカ地域 (1)

司会: 山田肖子 (名古屋大学)

- 9:15 - 9:45 マラウイの中等学校における転校の調査と考察  
川崎 友紀子 (鳴門教育大学大学院)
- 9:45 - 10:15 フランス植民地期西アフリカの教育政策  
— ジョルジュ・アルディによる教育整備に焦点を当てて  
谷口 利律 (早稲田大学)
- 10:15 - 10:45 ブルキナファソ・カメルーン共和国の幼児教育の比較  
— 教育プログラムを中心に  
舟津 香菜美 (鳴門教育大学大学院)
- 10:45 - 11:15 Does information sharing enhance community participation?  
An empirical evidence from rural Kenya  
○Nishimura, Mikiko (International Christian University)  
Yamada, Tetsuya (GLM Institute)
- 11:15 - 11:45 The role of private schools in rural Kenya  
under 'truly' free secondary education policy  
Ogawa, Miku (Hiroshima University)
- 

自由研究発表 I-10 6月8日 (土) 9:15~11:45 教室: 224

### ヨーロッパ地域 (1)

司会: 山内乾史 (神戸大学)

- 9:15 - 9:45 イタリアにおけるインターカルチュラル教育の変容  
— 多様化する移民と EU  
中村 理香 (東京外国語大学大学院)
- 9:45 - 10:15 ドイツにおける大学教授職をめぐる諸問題  
木戸 裕 (前国立国会図書館)
- 10:15 - 10:45 ポルトガルの早期離学 (ESL) 問題に取り組むセカンドチャンススクールの挑戦  
— Escola de Segunda Oportunidade de Matosinhos の 10 年  
二井 紀美子 (愛知教育大学)
- 10:45 - 11:45 EU とフランスにおける早期離学 (ESL) の現状と課題  
○園山 大祐 (大阪大学) ○柿内 真紀 (鳥取大学)

## 自由研究発表Ⅱ

2019年6月8日（土） 12：35－14：35

**教育改革・教育計画**

司会: 中島千恵(京都文教大学)

- 12:35 - 13:05 中国における「核心素養」の育成を目指した教育課程の実践  
— 北京市MZ小学校の事例を中心に  
周 珏(早稲田大学大学院)
- 13:05 - 13:35 校長採用における教職員、保護者、児童生徒の参加の論理  
田村 徳子(びわこ成蹊スポーツ大学)
- 13:35 - 14:05 日本人材育成における産学連携と中国応用型教育への示唆  
陳 要勤(東京外国語大学)
- 14:05 - 14:35 ミャンマー連邦共和国における基礎教育学校施設の現状と今後の展望  
牟田 博光(国際開発センター)
- 

**高等教育(1)**

司会: 芦沢真五(東洋大学)

- 12:35 - 13:05 モンゴルにおける大学教授職に関する研究  
— NUMの教員の意識調査  
ジャルガルサイハン ジャルガルマー(京都大学大学院)
- 13:05 - 13:35 国家と大学  
— 韓国におけるインテリジェンス機関と大学との関係を手がかりとした一考察  
朴 炫貞(成城大学)
- 13:35 - 14:05 タイがめざす高等教育国際化と外国人留学生受入れ戦略に関する調査研究  
○カンピラパーブ スネート(名古屋大学) 鈴木 康郎(高知県立大学)
- 14:05 - 14:35 カタールにおける海外分校質保証  
— 質保証機関による関与と分校による調整を中心に  
中島 悠介(大阪大谷大学)



**高等教育(2)**

司会: 北村友人(東京大学)

- 12:35 - 13:05 大学の市場化とモンゴル人の民族予科教育  
道日娜 (東京外国語大学大学院)
- 13:05 - 13:35 マレーシアにおける外国大学分校の比較考察  
— エデュケーション・ハブにおける外国大学分校との比較を中心に  
我妻 鉄也 (千葉大学)
- 13:35 - 14:05 Inter-university collaboration for higher education development in Africa:  
Case of Pan African University  
○Umemiya, Naoki (Japan International Cooperation Agency)  
○Toda, Mai (Japan International Cooperation Agency)  
Yonezawa, Akiyoshi (Tohoku University)
- 14:05 - 14:35 Research Capacity Development in Lao Higher Education  
Ogawa, Keiichi (Kobe University)
- 

**生涯学習**

司会: 澤野由紀子(聖心女子大学)

- 12:35 - 13:05 中国における生涯学習に対する民間教育訓練産業の役割  
— 福建省福州市の語学教育訓練機構を中心に  
ライ ユエイ (東京外国語大学大学院)
- 13:05 - 13:35 韓国の生涯教育政策と社会人が大学で学ぶことの意義  
— リカレント教育を目指した生涯学習学部の設置を事例に  
朴 賢淑 (岩手大学)
- 13:35 - 14:05 米国の図書館・博物館による認知症高齢者への教育事業の特徴と課題  
— 生涯学習関連施設が関わることの意義に注目して  
鈴木 尚子 (徳島大学)
- 14:05 - 14:35 日本の教育従事 80 年を振り返って  
— 社会学的比較教育学の立場から  
関口 礼子 (日本の社会研究所)

## 国際教育・教育交流(2)

司会: 大倉健太郎(武庫川女子大学)

- 12:35 - 13:35 英・仏・韓における外国・国際資格の認証機関の役割と機能  
 — 大学入学者選抜・振分け制度における機関の位置づけに焦点を当てて  
 ○飯田 直弘(北海道大学) ○細尾 萌子(立命館大学)  
 ○田中 光晴(文部科学省・国立教育政策研究所フェロー)  
 ○花井 渉(独立行政法人大学入試センター)
- 13:35 - 14:35 職業キャリア教育プログラムにおける国を超える枠組みは、各国・地域で  
 どう機能するのか  
 — 国際バカロレア・キャリアプログラム(IBCIP)を例にしてイングランド・  
 UAE(ドバイ)・シンガポールで比較検討する  
 ○柳田 雅明(青山学院大学) ○御手洗 明佳(淑徳大学)  
 中島 悠介(大阪大谷大学) 飯田 直弘(北海道大学)  
 シム チュンキャット(昭和女子大学)  
 花井 渉(独立行政法人大学入試センター)  
 赤塚 祐哉(早稲田大学本庄高等学院) 中西 啓喜(早稲田大学)

## 多文化教育(1)

司会: 布川あゆみ(東京外国語大学)

- 12:35 - 13:05 An analysis of education for social cohesion and peace in Sri Lanka  
 Mallawaarachchi, Chamila Geethanjalee (Graduate School, Osaka Jogakuin University)
- 13:05 - 13:35 Who serves as legitimate stewards of Khmer classical dance?  
 Transgression, gender pluralism and non-formal education in diaspora  
 Hagai, Saori (Ritsumeikan University)
- 13:35 - 14:05 中国少数民族学校における言語教育の新動向  
 — 内モンゴル自治区の教師勉強会に焦点をあてて  
 陳 烏日汗(名古屋大学大学院)
- 14:05 - 14:35 文化的多様性を前提とし活かした教科教育を実現させるための制度と環境  
 — カナダのブリティッシュ・コロンビア州を事例として  
 児玉 奈々(滋賀大学)

### 宗教と教育

司会: 長濱博文 (桐蔭横浜大学)

- 12:35 - 13:05 20世紀後半エジプトにおけるイスラーム学校制度の再編過程に関する研究  
— 都市部にある私立学校の「アズハル」系統への統合に着目して  
内田 直義 (名古屋大学大学院)
- 13:05 - 13:35 ロシアにおける新・宗教教育をどう位置づけるのか  
— 「宗教文化と世俗倫理の基礎」科に関する分析枠組みの検討  
木之下 健一 (東京福祉大学)
- 13:35 - 14:05 アジアのカトリック聖職者養成センター・フィリピン  
— 神学校の事例  
市川 誠 (立教大学)
- 

### ヨーロッパ地域(2)

司会: 園山大祐 (大阪大学)

- 12:35 - 13:05 ドイツの中等教育における職業教育制度の展開と分岐型学校制度への影響  
— 2000年以降の変化に着目して  
栗原 麗羅 (東京医療保健大学)
- 13:05 - 13:35 北欧におけるICT活用教育  
— 活用事例と考察をPISA調査と繋げて  
○大萩 明日香 (国立教育政策研究所) ○猿田 かほる (国立教育政策研究所)
- 13:35 - 14:05 欧州における外国語教育の基本理念、現状と課題  
— 比較的視点からの考察  
鶴田 洋子 (明治学院大学(非))
- 14:05 - 14:35 ドイツにおける若年層の難民に対する教育施策  
— 職業準備教育における動向の分析  
立花 有希 (宇都宮大学)

## 自由研究発表Ⅲ

2019年6月9日（日） 9:15-11:45

## 初等・中等教育(2)

司会: 大和洋子(青山学院大学(非))

- 9:15-9:45 教育政策文書における国際的な教育潮流の参照  
— 他教科との比較でみる外国語科における『欧州言語共通参照枠』(CEFR)の受容  
藤田 舜(名古屋大学大学院)
- 9:45-10:15 カンボジア農村部における幼児教育就学と中学校進学・卒業との関係  
三輪 千明(広島大学)
- 10:15-10:45 The Extent to which language affects the understanding of knowledge, skills and way of thinking in mathematics:  
Applying constructive lesson approach in Fiji secondary school context-  
Serubasaga, Luke (Graduate School, Naruto University of Education)
- 10:45-11:15 The Management of Basic Education in Special Economic Zones:  
A Case Study of Chiang Rai, Thailand  
Unkong, Thidawan (School of Education, University of Phayao)
- 11:15-11:45 Current Situation and Issues of Continuous Assessment System in Mathematics classroom in Nepal  
Dhakal, Ram Chandra (Graduate School, Naruto University of Education)
- 

## 開発と教育

司会: 黒田一雄(早稲田大学)

- 9:15-9:45 学校を運営するシリア難民の主体性  
— トルコ政府の介入をめぐるジレンマ ガラーウィンジ山本 香(上智大学)
- 9:45-10:15 タンザニアの小学校における学習者中心型教授法の実態  
— 児童の学習経験と学習成果に与える影響  
坂田 のぞみ(University College London Institute of Education)
- 10:15-10:45 ストリート・チルドレンの更生教育における支援側と被支援側の齟齬  
— ニカラグアの国際 NGO の実践を事例として 楊 殿閣(東京福祉大学)
- 10:45-11:15 The Effects of Teaching Assistants on Learning Outcomes of Refugees:  
Evidence from Refugee Settlements in West Nile, Uganda  
Sakaue, Katsuki (Osaka University)
- 11:15-11:45 Introduction of the Competency Based Approach in Teaching and Learning mathematics at Elementary School level in Senegal —Success and Challenges—  
Diasse, Abdoulaye (Graduate School, Naruto University of Education)

## 東アジア地域(2)

司会: 南部広孝(京都大学)

- 9:15 - 9:45 東アジア域内の留学生移動に関する研究  
— 中国の朝鮮族を事例に ○李明(大阪大学) 石川 真由美(大阪大学)
- 9:45 - 10:15 韓国の学校運営における業務負担のあり方に関する考察  
— 教員と学校スタッフの役割分担を中心に 松本 麻人(名古屋大学)
- 10:15 - 10:45 韓国「道徳科」教科書における「統一教育」の現状  
— 『中学校 道徳②』を中心に  
朴 貞蘭(大分県立芸術文化短期大学)
- 10:45 - 11:15 中国における農村小規模学校の教育改善への取り組み  
— 湖北省の農村小規模小学校の「90後教員」の事例を中心に  
劉 靖(東北大学)
- 11:15 - 11:45 中国の大学入試における募集人員の地域配分に関する省別比較  
○小川 佳万(広島大学) ○小野寺 香(奈良女子大学)  
○石井 佳奈子(広島大学大学院)
- 

## 東南アジア地域(3)

司会: 杉本均(京都大学)

- 9:15 - 9:45 Challenges in the Transition to Communicative Language Teaching (CLT):  
Teachers' Understandings, Attitudes and Teaching Practices based on the New English  
Textbooks in Cambodian Lower Secondary Education  
Meas, Soth (Graduate School, Hiroshima University)
- 9:45 - 10:15 フィリピンの農村部における中等学校生の妊娠とその後のライフコース  
上野 利江(神戸大学大学院)
- 10:15 - 10:45 インドネシアにおける大学内モスクの多様な役割と可能性  
— 一般系国立大学の事例から 中田 有紀(東洋大学)
- 10:45 - 11:15 マレーシア サラワク州・サバ州の国境地域における教育  
— ブルネイとインドネシアとの国境  
○鴨川 明子(山梨大学) 金子 奈央(長崎外国語大学)
- 11:15 - 11:45 シンガポールにおけるアクティブ・ラーニングの展開と特質に関する研究  
— PAL (Programme for Active Learning) の導入過程と実践に着目して  
池田 充裕(山梨県立大学)

## 東南アジア地域(4)

司会: 中矢礼美(広島大学)

- 9:15 - 9:45 A Study on the Effect of Play-based Curriculum on Cognitive and Non-cognitive Abilities of Kindergarten Children in Myanmar  
Wai, Tin Nu Nu (Graduate School, Hiroshima University)
- 9:45 - 10:15 -----
- 10:15 - 10:45 Teachers' perspective toward non-formal lower secondary education equivalency program in Laos  
Bannavong, Phonexay (Graduate School, Hiroshima University)
- 10:45 - 11:15 インドネシアにおけるイスラーム幼稚園に関する研究  
— 知識習得の早期化の背景に焦点を当てて  
El Amanda De Yurie Arrafajr Suryadimulya (名古屋大学大学院)
- 11:15 - 11:45 タイ国ラノン県におけるミャンマー児童の国立初等学校への就学  
○平田 利文(大分大学) ○森下 稔(東京海洋大学)
- 

## 南アジア地域

司会: 日下部達哉(広島大学)

- 9:15 - 9:45 Paradigm Shift of Curriculums at Religious Schools  
Azam, Md Golam (Graduate School, Hiroshima University)
- 9:45 - 10:15 インドの初等教育における保護者の関わり  
— ナガランド州を事例として  
森本 美緒(早稲田大学大学院)
- 10:15 - 10:45 インドの RTE 法と教員養成政策  
— 高学歴化は教員の質向上を実現するのか  
西村 史子(共立女子大学)
- 10:45 - 11:15 インドにおける無償義務教育に関する子どもの権利法(RTE2009)の改正とその社会的背景  
— 数次の法改正の分析を通して  
牛尾 直行(順天堂大学)
- 11:15 - 11:45 市民社会中心の持続可能な少数言語教育の構築  
— インド先住民族サンタル語を例に  
野沢 恵美子(中央大学)

## 中央アジア地域

司会: 嶺井明子(元筑波大学)

- 9:15 - 9:45 内モンゴルにおける民族教育政策の変容  
— モンゴル民族学校義務教育カリキュラム内容の改訂を中心に  
白 双竜(東京外国語大学大学院)
- 9:45 - 10:15 ウズベキスタンの多言語教育  
— 大統領令 PQ-1875 に焦点を当てて  
ウロルボエヴァ ディルショダ ガイブラエウナ(東京外国語大学大学院)
- 10:15 - 10:45 試験・選抜を通してみるモンゴルの能力主義  
— オリンピアド試験の機能の歴史的変遷に着目して  
ガルバドラッハ スウリ(名古屋大学)
- 10:45 - 11:15 カザフスタンとウズベキスタンにおける母語教育権利保障の比較  
— 法規定と教育課程に焦点を当てて  
Tastanbekova, Kuanysh(筑波大学)
- 

## アフリカ地域(2)

司会: 西村幹子(国際基督教大学)

- 9:15 - 9:45 私立学校の増加に伴う教育機会の拡大と女子教育  
— 教育セクターにおける分権化政策: マリのケース  
森下 拓道(独立行政法人 国際協力機構)
- 9:45 - 10:15 ケニアにおけるカリキュラム改革とスラムの学校対応  
— ナイロビのマザレを事例に  
大場 麻代(帝京大学)
- 10:15 - 10:45 ガーナにおけるインクルーシブ教育  
— 教員の意識と態度からの考察  
西向 堅香子(帝京大学)
- 10:45 - 11:15 カメルーンの初等教育カリキュラム改訂  
○小澤 大成(鳴門教育大学) 石坂 広樹(鳴門教育大学)  
石村 雅雄(鳴門教育大学)
- 11:15 - 11:45 Dynamics of low cost private preschools in Zambia:  
Implications for access, quality and equity  
Okitsu, Taeko(Otsuma Women's University)



**北アメリカ地域**

司会: 牛田千鶴(南山大学)

- 9:15 - 9:45 アメリカ・カリフォルニア州におけるバイリンガル教育の諸相  
市川 桂(都留文科大学)
- 9:45 - 10:15 カナダ・アルバータ州の学力調査  
ー テスト問題作成と採点プロセスを中心に  
森本 洋介(弘前大学)
- 10:15 - 10:45 カリフォルニア州におけるバイリンガル教員の資格と養成  
末藤 美津子(東洋学園大学)
- 10:45 - 11:45 米国高等教育におけるサービス・ラーニングとコミュニティ・エンゲージメント  
○五島 敦子(南山大学) ○杉本 昌彦(東京大学大学院)  
○黒沼 敦子(東京大学大学院) 福留 東土(東京大学)
- 

**Comparative and Intercultural Education**

司会: 末松和子(東北大学)

- 9:15 - 9:45 Bullying prevention policies:  
Cases of Japan and Lithuania  
Simonaityte, Kristina (Graduate School, University of Tsukuba)
- 9:45 - 10:15 Revisiting the histories of comparative education:  
A dialogue with the JCES  
Manzon, Maria Iluminada Esquivel (The Education University Of Hong Kong)
- 10:15 - 10:45 Effects of Private Tutoring on English Performance:  
Evidence from Senior High Students in Taiwan  
Chang, Chih Hao (Graduate School, Nagoya University)
- 10:45 - 11:15 The impact and issues of In-service teacher training in teaching mathematics of primary  
level in Nepal  
Bhujel, Krishna (Naruto University of Education)
- 11:15 - 11:45 Reflections on Study Abroad Experiences in Japan  
- Cultural Factors and Differences among International Students -  
Tsunematsu, Naomi (Hiroshima University)

## 自由研究発表 IV

2019 年 6 月 9 日（日） 12 : 35 - 14 : 35

**教育と地域社会**

司会: 野田真里 (茨城大学)

- 12:35 - 13:05 地域包括ケアシステムにおける国民への健康教育 (ヘルスプロモーション) の在り方  
津村 育子 (東京外国語大学大学院)
- 13:05 - 13:35 移民児童生徒の教育に関する地域比較研究  
— 日本の地方自治体の取り組みに着目して  
橋本 彩花 (UCL Institute of Education (IOE))
- 13:35 - 14:05 災害後の移転先コミュニティにおける学校づくり  
— フィリピンを事例に  
桜井 愛子 (東洋英和女学院大学)
- 14:05 - 14:35 災害後コミュニティとチャータースクール  
— ポストコロニアリズムを手がかりとして —  
大倉 健太郎 (武庫川女子大学)
- 

**高等教育 (3)**

司会: 杉村美紀 (上智大学)

- 12:35 - 13:05 中国の地方都市における民営高等教育の経済効果  
— 人的資本の形成・蓄積の視点を用いて  
曹 蕾 (広島大学大学院)
- 13:05 - 13:35 インドネシアの医学教育改革に関する考察  
— 医師法と医学教育法に着目して  
和氣 太司 (公益財団法人医学教育振興財団)
- 13:35 - 14:05 コンピテンスを基盤とした学位・資格などの“Qualifications”  
— 国家資格枠組み (NQF) に期待される役割と課題  
野田 文香 (東北大学)
- 14:05 - 14:35 台湾の大学における障害学生支援の現状と課題  
— 台湾の私立大学における障害学生の修学支援および就労支援  
小川 勤 (静岡福祉大学)

**高等教育(4)**

司会: 羽谷沙織(立命館大学)

- 12:35 - 13:05 中国における高等職業教育の展開  
— 現代学徒制とオーダークラスに焦点を当てて  
張 潔麗(京都大学大学院)
- 13:05 - 13:35 中国の高等教育カリキュラムの改革について  
羅 明坤(西南女学院大学)
- 13:35 - 14:05 日本の学士課程における英語を教授言語とした授業の課題と可能性  
— 比較教育の授業を事例として  
山本 友紀(慶應義塾大学(非))
- 14:05 - 14:35 オーストリアの専門大学成立をめぐる議論の分析  
田中 達也(釧路公立大学)
- 

**多文化教育(2)**

司会: 服部美奈(名古屋大学)

- 12:35 - 13:05 南アフリカ共和国におけるナショナル・カリキュラムとしての「共生教育」に関する一考察  
— 西ケープ州教育省の視点に焦点をあてて  
坂口 真康(兵庫教育大学)
- 13:05 - 13:35 イングランドにおけるアカデミー拡大後の EAL 支援体制の変化  
○菊地 かおり(筑波大学) ○小山 晶子(東海大学)
- 13:35 - 14:05 教員の異文化受容に関する研究  
— ジャカルタ日本人学校派遣教員を事例に  
泉澤 慧(筑波大学大学院)
- 14:05 - 14:35 在日留学生に関する調査  
— 日本語学校におけるモンゴル人学生の留学経験に焦点を当てて  
Myagmar, Ariuntuya(早稲田大学)

**多文化教育(3)**

司会: 江原裕美(帝京大学)

- 12:35 - 13:05 フランスにおける「出身言語・文化教育(ELCO)」プログラムの実態  
— 二国間協定締結国に焦点をあてて  
島埜内 恵(浜松学院大学)
- 13:05 - 13:35 スロヴェニアにおける複言語主義の政策と教育に関する考察  
Sonobe, Nicole(西九州大学)
- 13:35 - 14:35 多様性を志向する教員養成  
— アメリカとドイツを事例に  
○佐藤 仁(福岡大学) ○伊藤 亜希子(福岡大学)
- 

**国際教育・教育交流(3)**

司会: 山口アンナ真美(北海道教育大学(非))

- 12:35 - 13:05 The Need for Contextualization of Education for Sustainable Development (ESD) in schools:  
Using Contextual Approach to improve problem solving as a skill of ESD, in the classroom. ? A Study of ESD in Fiji and Japan  
Vesikula, Adi Lamawanaivalu Boseisomosomo  
(Graduate School, Naruto University of Education)
- 13:05 - 13:35 Investigation of Factors Influencing Exchange Program Participation of Lao University Students  
Sisavath, Soubin (Graduate School, Hiroshima University)
- 13:35 - 14:05 International student migration research in Japan  
Ryan, Yuko (Shizuoka University)
- 14:05 - 14:35 ドイツのトランスナショナル高等教育戦略の展開と実践  
— ベトナムの事例を中心として  
上別府 隆男(福山市立大学)

ヨーロッパ地域(3)

司会: 見原礼子(長崎大学)

- 12:35 - 13:05 イギリスにおける探究型歴史教育の成立とその問題点  
菅尾 英代(東京大学大学院)
- 13:05 - 13:35 オランダにおける教育費国庫補助政策に関する一考察  
— 追加資金交付基準の変遷に焦点化して  
吉田 重和(新潟医療福祉大学)
- 13:35 - 14:05 マルタ共和国における高等教育の現状と課題  
水谷 耕平(日本工業大学)
- 14:05 - 14:35 フランス農山村部における初等学校に関する研究  
— 小規模校の存立をめぐる動向  
赤星 まゆみ(西九州大学)

## 課題研究 I

### グローバル時代における言語・文化教育 — 留学生教育・外国にルーツを持つ学生に対するプログラムの 多様な評価方法をめぐって—

日時：2019年6月9日（日） 14時50分～17時10分

場所：研究講義棟・226

趣旨説明・司会者：岡田昭人（東京外国語大学）

パネリスト

「留学生受入れ環境に関する評価の現状と課題」

中矢 礼美（広島大学）

「日本育ちの外国にルーツを持つ学生への言語・文化教育」

宮崎 幸江（上智大学短期大学部）

「大学の国際化と国際共修によるインクルーシブ教育」

末松 和子（東北大学）

趣旨：グローバル化が進む日本社会において外国人の受け入れが急速に進むと同時に「多様性」の理解が重要視されている。こうした社会において留学生を対象とした言語教育、文化・社会教育、インターンシップ活動、また種々の受入れるプログラムなどの評価はどのような現状にあり、また、いかなる課題が生じているのか。また、内なる国際化による多様な背景を持つ学生の増加は、大学教育にどのような影響を与えうるのか。

本課題研究ではこうした諸問題を国内外の事例を紹介しながら、パネルディスカッション形式で議論していくことを目的としている。冒頭で岡田昭人から本研究課題の趣旨説明と論点の整理について説明し、最後に総括する。フロアからパネリストへの質疑応答も行う。

まずは、中矢会員は事例報告①の「留学生教育に関する評価指標の現状と課題」では、パートナーシップモデル型の留学生受入れ施策のもとでの留学生教育の評価として、大学の留学生受け入れ環境の包括的評価は必須であることを前提とし、留学生に対する大学生活の満足度調査を事例として、評価の方法と内容、分析および活用方法の現状と課題について検討する。

次に、宮崎会員による事例報告②は「日本育ちの外国にルーツを持つ学生への言語・文化教育」について議論を進める。近年、内なる国際化により日本育ちの外国にルーツを持つ若者の大学進学が増加している。米国では、移民「1.5世代」の言語能力の課題が認識され、彼らに合わせた支援システムや教育プログラムが構築されつつある。本報告では、日本の大学における多様な言語文化的背景を持つ学生の現状と課題および教育のあり方を考える。

最後に、末松会員による事例報告③「大学の国際化と国際共修によるインクルーシブ教育」では、学生の多様な言語・文化背景を教育資源として活用する教育実践、「国際共修」を、大学国際化の教育施策と位置付け、推進することの意義につき考察する。出島教育を本流に統合させる教育改革とは？ 全ての学生にベネフィットをもたらす内なる国際化とは？ G30、GGJ、SGU 採択校の事例を用いて、その方策や課題につき議論する。

## 課題研究 II

### 比較教育学におけるボーダースタディーズの可能性 — 国境・境界地域に生きる子どもたちとその教育 —

日時：2019年6月9日（日） 14時50分～17時10分

場所：研究講義棟・227

司会者：森下稔（東京海洋大学）・渡邊あや（津田塾大学）

基調講演 「ボーダースタディーズとは何か：教育と社会の現場と向き合って」

岩下明裕氏（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

越境フィールドワーク報告

①「国境を越えること、子どもたちと出会うこと：アメリカ＝メキシコ国境の現在」

鈴木賀映子（帝京大学）・市川桂（都留文科大学）

②「国境を越えること、子どもたちと出会うこと：タイ＝カンボジア国境の現在」

羽谷沙織（立命館大学）・森下稔（東京海洋大学）

趣旨：研究委員会では、学会科研・基盤研究（A）「境界研究の分析法を用いた国境・境界地域における基礎教育に関する国際比較研究」を2018年度から4年間推進している。これまでの国民教育制度を対象とする比較教育学研究では特殊・周縁的であると考えられ、国境・境界地域の教育事象は調査対象とされてこなかった。しかし実際に足を運んでみると、国境の向こう側との関係でヒト・モノが集積して活気にあふれ、時に先進性も見られる。他方、地理学や国際政治学などにおける地域研究では、ボーダースタディーズ（境界研究）が盛んになってきているという。そこで、ボーダースタディーズの分析法を用いて国境・境界地域の教育事象を対象として、調査・研究してみようというのが本学会科研の課題である。

第55回大会では、ボーダースタディーズの第一人者である岩下明裕氏にボーダースタディーズとは何か、比較教育学に何を期待するかについて基調講演をお願いしたうえで、科研の第1年度の調査結果から、アメリカ＝メキシコ国境の事例と、カンボジア＝タイ国境の事例を報告する。そこから、参加の会員諸氏とともに、比較教育学におけるボーダースタディーズの可能性を考えたい。

基調講演 講師紹介

岩下明裕氏 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授（法学博士）

専門は、ボーダースタディーズ、ロシア外交、東北アジア地域研究、領土問題など。1992年九州大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、山口県立大学などを経て2001年より現職。The Association for Borderlands Studiesの会長を務めた（2015－2016年）。第6回大佛次郎論壇賞（2006年）及び第4回日本学術振興会賞（2007年）を受賞。

主な著書

- ・『ボーダーツーリズム－観光で地域をつくる』北海道大学出版会（編著）、2017年
- ・『入門国境学：領土、主権、イデオロギー』中公新書、2016年
- ・『領土という病』北海道大学出版会（編著）、2014年
- ・『図説ユーラシアと日本の国境：ボーダーミュージアム』北海道大学出版会（共編著）、2014年



最新刊  
**文字と音声の比較教育文化史研究**  
添田晴雄著 A5・上製四〇〇頁・四八〇〇円

最新刊  
**才能教育の国際比較**  
山内乾史編著 A5・上製三三六頁・三五〇〇円

最新刊  
**現代ベトナム高等教育の構造**  
— 国家の管理と党の領導 —  
関口洋平著 A5・上製三三八頁・三九〇〇円

最新刊  
**韓国の現代学校改革研究**  
— 1990年代後半の教師たちを中心とした新しい学校へ —  
申智媛著 A5・上製三三六頁・四二〇〇円

最新刊  
**中国の素質教育と教育機会の平等**  
— 都市と農村の小学校の事例を手がかりとして —  
代玉著 A5・上製五二二頁・五八〇〇円

最新刊  
**アメリカの大学の豊かさと強さのメカニズム**  
— 基本財産の歴史、運用と教育へのインパクト —  
長野公則著 A5・上製四六四頁・四六〇〇円

最新刊  
**地域研究—多様性の教育学へ**  
近藤孝弘・中矢礼美・西野節男編著 A5・上製二八八頁・三七〇〇円

最新刊  
**比較教育学の研究スキル**  
山内乾史編著 A5・並製二〇〇頁・二〇〇〇円

最新刊  
**ネオリベラリズム期教育の思想と構造**  
— 書き換えられた教育の原理 —  
福田誠治著 A5・上製六六四頁・六二〇〇円

最新刊  
**教育と比較の眼**  
江原武一著 四六・上製二七二頁・二六〇〇円

最新刊  
**国際教育開発の研究射程**  
— 持続可能な社会のための比較教育学の最新線 —  
北村友人著 A5・上製二四〇頁・二八〇〇円

最新刊  
**比較教育学の地平を拓く**  
— 多様な学問観と知の共働 —  
山田尚子・森下裕編著 A5・上製四五六頁・四六〇〇円

最新刊  
**比較教育学—越境のレッスン**  
馬越徹著 A5・上製三三五頁・三六〇〇円

最新刊  
**比較教育学事典**  
日本比較教育学会編 B5・上製四五六頁・二二〇〇円

最新刊  
**アメリカ教育研究29号**  
アメリカ教育学会編 A5・並製一五五頁・二〇〇〇円

最新刊  
**英国の教育**  
日英教育学会編 A5・上製三三八頁・三四〇〇円

最新刊  
**空間と時間の教育史**  
— アメリカの学校建築と授業時間割からみる —  
宮本健市郎著 A5・上製三三〇頁・三九〇〇円

最新刊  
**アメリカ公立学校の社会学**  
— コモンズからNCLB法まで —  
W. リー・ス 浅沼茂・小川佳万監訳 A5・上製五二八頁・四六〇〇円

最新刊  
**アメリカ学校財政制度の公正化**  
笠沙知章著 A5・上製三三八頁・三九〇〇円

最新刊  
**アメリカ間違いがまかり通っている時代**  
— 公立学校の企業型改革への批判と解決法 —  
D. ラウ・ウィッチ著 末藤美津子訳 A5・上製五三六頁・三九〇〇円

最新刊  
**アメリカにおける学校認証評価の現代的展開**  
浜田博文編著 A5・上製三三八頁・三九〇〇円

最新刊  
**アメリカにおける多文化的歴史カリキュラム**  
桐谷正信著 A5・上製二八八頁・三六〇〇円

最新刊  
**多様性と向きあうカナダの学校**  
— 移民社会が目指す教育 —  
児玉奈々著 A5・上製二六六頁・二八〇〇円

最新刊  
**カナダの女性政策と大学**  
犬塚典子著 A5・上製二八八頁・三九〇〇円

最新刊  
**ペルーの民衆教育**  
— 社会を変える、教育の変容と学校での受容 —  
工藤瞳著 A5・上製二二六頁・三三〇〇円

最新刊  
**イングランドのシエインシップ教育政策の展開**  
— カリキュラム改革にみる国民意識の形成に着目して —  
菊地かおり著 A5・上製三三三頁・三三〇〇円

最新刊  
**イギリス大学経営人材の養成**  
高野篤子著 A5・上製一五二頁・一七〇〇円

最新刊  
**統一ドイツ教育の多様性と質保証**  
— 日本への示唆 —  
坂野慎二著 A5・上製二四四頁・二八〇〇円

最新刊  
**ドイツ統一・EU統合とグローバル化**  
— 教育の視点からみたその軌跡と課題 —  
木戸裕著 A5・上製六四四頁・六〇〇〇円

最新刊  
**大学理念と大学改革—ドイツと日本**  
金子勉著 A5・上製三三四頁・四二〇〇円

最新刊  
**チュートリアル伝播と変容**  
— イギリスからオーストラリアの大学へ —  
竹腰千絵著 A5・上製二四四頁・二八〇〇円

最新刊  
**オーストラリアの教員養成とグローバル化**  
— 多様性と公平性の保証に向けて —  
本柳とみ子著 A5・上製三三二頁・三六〇〇円

最新刊  
**オーストラリアのグローバル教育の理論と実践**  
— 開発教育研究の継承と新たな展開 —  
木村裕著 A5・上製二七二頁・三六〇〇円

最新刊  
**グローバル人材養成と国際バカロレア**  
— アジア諸国の導入実態 —  
李霞編著 A5・上製二〇八頁・一九〇〇円

最新刊  
**アセアン共同体の市民性教育**  
平田利文編著 A5・上製三三五頁・三七〇〇円

最新刊  
**タイの人権教育政策の理論と実践**  
— 人権と伝統的多様な文化との関係 —  
馬場智子著 A5・上製二〇〇頁・二八〇〇円

最新刊  
**インドの無認可学校研究—公教育を支える**  
— 影の制度 —  
小原優貴著 A5・上製三三三頁・三二〇〇円

最新刊  
**中央アジアの教育とグローバル化**  
嶺井明子・川野辺敏著 A5・上製二六八頁・三八〇〇円

最新刊  
**東アジアの大学・大学院入学者選抜制度の比較**  
— 中国・台湾・韓国・日本 —  
南部広孝著 A5・上製二〇八頁・三二〇〇円

最新刊  
**東アジアにおける留学生移動のパラダイム転換**  
— 大学国際化と英語プログラムの日韓比較 —  
嶋内佐絵著 A5・上製三二二頁・三六〇〇円

最新刊  
**文革後中国基礎教育における「主体性」の育成**  
李霞著 A5・上製二〇八頁・二八〇〇円

最新刊  
**中国における大学奨学金制度と評価**  
王帥著 A5・上製三〇〇頁・五四〇〇円

最新刊  
**韓国の才能教育制度—その構造と機能**  
石川裕之著 A5・上製二六八頁・三八〇〇円

最新刊  
**米国高等教育の拡大する個人寄付**  
福井文威著 A5・上製三〇四頁・三六〇〇円

最新刊  
**学生エリート養成プログラム—アメリカ**  
北垣郁雄編著 A5・上製二八〇頁・三六〇〇円

最新刊  
**高等教育の質とその評価—日本と世界**  
山田礼子編著 A5・上製二八〇頁・三二〇〇円

最新刊  
**アウトカムに基づく大学教育の質保証**  
— チュニングとアセスメントにみる世界の動向 —  
深堀聰子編著 A5・上製三三四頁・三六〇〇円

最新刊  
**トランスナショナル高等教育の国際比較**  
— 留学概念の転換 —  
杉本均編著 A5・上製三三五頁・三六〇〇円

最新刊  
**新自由主義大学改革—各国の動向**  
— 国際機関と —  
編者代表 細井克彦 A5・上製三三四頁・三八〇〇円

最新刊  
**文部科学省の解剖**  
青木栄一編著 A5・上製二九六頁・三二〇〇円

最新刊  
**検証 国立大学法人化と大学の責任**  
— その制定過程と大学自立への構想 —  
田中弘充・佐藤博明・由原博人著 A5・上製二五二頁・三二〇〇円

最新刊  
**国立大学職員の仕事システム**  
— 管理職への昇進と能力開発 —  
渡辺恵子著 A5・上製三六〇頁・四二〇〇円

最新刊  
**ユネスコ国際教育政策叢書**  
全12巻完結各A5・並製

最新刊  
**① 教育政策立案の国際比較**  
北村友人・廣里恭史 一〇〇〇円

最新刊  
**② グローバリゼーションと教育改革**  
吉田和浩・解説 一〇〇〇円

最新刊  
**③ 紛争・災害後の教育支援**  
小松太郎・解説 一八〇〇円

最新刊  
**④ 塾受験指導の国際比較**  
鈴木慎一・解説 一五〇〇円

最新刊  
**⑤ 幼児教育への国際的視座**  
浜野隆司・解説 一〇〇〇円

最新刊  
**⑥ 国際学力調査と教育政策**  
野村真作・解説 一六〇〇円

最新刊  
**⑦ 教育におけるジェンダー平等**  
結城貴子・解説 一五〇〇円

最新刊  
**⑧ 教育分権化の国際的潮流**  
西村/笹岡 一〇〇〇円

最新刊  
**⑨ HIV/AIDSと教育政策**  
勝間晴司・解説 一五〇〇円

最新刊  
**⑩ 途上国における複式学級**  
鈴木隆子・解説 一〇〇〇円

最新刊  
**⑪ 教育省のガバナンス**  
山田尚子・解説 一〇〇〇円

最新刊  
**⑫ 教育の経済分析**  
小川啓一・解説 一四〇〇円

最新刊  
**※全12巻セット特価一四〇〇〇円**  
直接東信堂へご注文下さい。

最新刊  
**教育のグローバル化のダイナミズム**  
— なぜ教育は国境を越えるのか北村友人監訳 —  
改訂版オーストラリア・ニュージーランドの教育  
青木麻衣子・佐藤博志編著

最新刊  
**大学教授職の国際比較**  
— 有本章編著 —  
留学生とともに学ぶ国際共修  
末松和子・秋庭裕子・米澤由香子編著

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6  
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514  
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

# 途上国世界の教育と開発 公正な世界を求めて

■ 小松太郎[編] A5判・定価(本体1,780円+税)

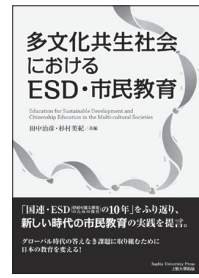
「公平・公正な世界の実現」のための、教育の役割と課題を考察し、今後の途上国世界の教育と国際教育協力の展望を描く。



# 多文化共生社会における ESD・市民教育

■ 田中治彦・杉村美紀[共編] A5判・定価(本体2,000円+税)

「国連・持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」が終了するに当たり、この10年間にふり返って、日本や諸外国の教育問題、ESDの現状と課題を解説。「多文化共生」「持続可能な社会と教育」「市民教育」をテーマに、グローバル時代のさらなる教育研究・実践の可能性を示唆。



<発行>  
**SUP上智大学出版**  
http://www.sophia.ac.jp

<発売>  
**ぎょうせい** 〒136-8575 東京都江東区新木場1-18-11  
TEL.0120-953-431 FAX.0120-953-495  
https://shop.gyosei.jp/

## 比較教育社会学の イメージ

原清治・山内乾史・杉本均 編著

教育社会学の視点から、諸外国の教育政策・事例を横断的に紹介。教育問題の普遍性と特殊性の解明を試みる。

本体  
2,000円  
●204頁



## 現代アジアの教育計画 (補巻)

山内乾史・杉本均・小川啓一  
原清治・近田政博 編

ブータン王国、インド、東南アジア、中国、韓国等の教育計画、日本の学習指導要領の改訂等の論考を掲載。

本体  
2,000円  
●102頁



早稲田教育ブックレット 21

## 東アジア地域における 小学校英語教育 一日・中・韓の 国際比較

早稲田大学教育総合研究所 監

東アジア地域の英語教育の進展に注目し、日本、中国、韓国との英語教育を比較し、日本の英語教育を考える。

本体  
1,000円  
●100頁



## SDGs時代の教育

—すべての人に質の高い学びの機会を

北村友人・佐藤真久・佐藤学 編著

SDGsの実現に向けて、人間にとって根源的な営みである「教育」を通じた人材育成や、知の創出を目指す。

本体  
3,000円  
●304頁



## 学校学力から生涯学力へ

前田耕司・佐藤千津 編著

●本体1700円 160頁

## 多文化・多民族共生時代の世界の生涯学習

岩崎正吾 編著

●本体2200円 224頁

## 途上国における基礎教育支援

上巻 —国際的潮流と日本の援助

小川啓一・西村幹子 編著 262頁

下巻 —国際的なアプローチと実践

廣里恭史・北村友人 編著 270頁

●本体各2800円



早稲田教育叢書 34

## 基礎から学ぶ比較教育学

長島啓記 編著

●本体2300円 242頁

## 学修支援と高等教育の質保証

I 山内乾史 編著

●本体2100円 208頁

II 山内乾史・武寛子 編著

●本体2300円 234頁

## 学生の学力と高等教育の質保証

I 山内乾史 編著

●本体2100円 228頁

II 山内乾史・原清治 編著

●本体2100円 208頁

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1  
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012  
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

# 教員政策と国際協力

未来を拓く教育をすべての子どもに

興津妙子、川口純 編著 荻巣崇世、牧貴愛、小原優貴、中和渚、小野由美子、近森憲助、中井一芳、下田旭美、馬場卓也、石坂広樹、横関祐見子、服部浩幸、深尾剛司、宮島智美、金澤大介、保坂菜穂子、マーク・ギンズバーグ、石原伸一 著 ◎3200円

新しい学力観が世界を席卷するなか、途上国における教員政策と国際協力の潮流を読み解き、その課題と展望を包括的に考察する。

## 発展途上国の困難な状況にある子どもの教育 難民・障害・貧困をめぐるフィールド研究

澤村信英 編著 ◎4800円

## OECD保育の質向上白書

人生の始まりこそ力強く：ECECのツールボックス

OECD 編著 秋田喜代美、阿部真美子、一見真理子、門田理世、北村友人、鈴木正敏、星三和子 訳 ◎6800円

## 移民の子どもと世代間社会移動

連鎖する社会的不利の克服に向けて  
OECD 編著 木下江美、布川あゆみ、斎藤里美 訳 ◎3000円

**図表でみる教育 OECDインディケータ(2018年版)**  
経済協力開発機構(OECD) 編著 ◎8600円

**諸外国の生涯学習** 文部科学省 編著 ◎3600円

**諸外国の教育動向 2017年度版** 文部科学省 編著 ◎3600円

**外国人児童生徒受入れの手引[改訂版]**  
文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課 編著 ◎800円



# 世界はきっと変えられる

アフリカ人留学生が語るライフストーリー

山田肖子 編 乾美紀 学習ガイド  
廣瀬桂子 編集協力 廣瀬信明 絵 ◎2000円  
来日した五人の留学生へのインタビューをまとめた記録。中学・高校の国際理解教育の現場でも使える教員向けの活用ガイド付き。



## 現代フランスにおける移民の子孫たち 都市・社会統合・アイデンティティの社会学

エマニュエル・サンテリ 著  
園山大祐 監修 村上一基 訳 ◎2200円

## 移動する人々と国民国家

ポスト・グローバル化時代における市民社会の変容

杉村美紀 編著 近藤孝弘、アーノルト・メンゲルコッホ、フランソワーズ・ウヴラル、園山大祐、江原裕美、二井紀美子、丸山英樹 著 ◎2700円

## 新自由主義的な教育改革と学校文化 大阪の改革に関する批判的教育研究

濱元伸彦、原田琢也 編著 ◎3800円

## 国際バカロレアの挑戦 グローバル時代の世界標準プログラム

岩崎久美子 編著 石村清則、錦織嘉子、奥出桂子、吉田孝、黄丹青、大和洋子、橋本八重子、金藤ふゆ子、坪谷ニューエル郁子、相良憲昭 著 ◎3600円

## 前川喜平 教育のなかのマイノリティを語る

高校中退・夜間中学・外国につながる子ども・LGBT・沖縄の歴史教育  
前川喜平、青砥恭、関本保孝、善元幸夫、金井景子、新城俊昭 著 ◎1500円



**明石書店**

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5  
<http://www.akashi.co.jp/>

TEL 03-5818-1171 FAX 03-5818-1174  
\*図書目録送呈 \*価格税別

# 比較教育学原論

京都大学大学院教育学研究科教授  
杉本 均 南部広孝 編著

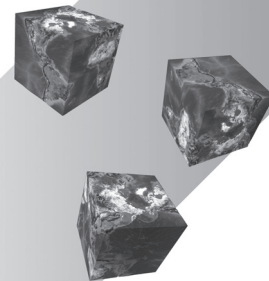
## 比較教育学の本格的なテキスト!

- ・比較教育学
- ・比較教育学のデータ
- ・比較教育学の方法
- ・教育課程・学力問題
- ・高等教育とグローバル化
- ・外国語教育とIB
- ・海外帰国児童・生徒の教育
- ・外国人の子どもの教育
- ・多文化共生時代の道徳教育
- ・幼児教育・保育
- ・教員養成・免許制度と教師教育をめぐる論点
- ・北アメリカの教育
- ・ヨーロッパの教育
- ・東アジアの教育
- ・東南アジア・南アジアの教育
- ・イスラーム圏の教育
- ・オセアニアの教育
- ・ラテンアメリカの教育

A5判 定価:本体2,800円+税

## 比較教育学原論

京都大学大学院教育学研究科教授  
杉本 均 編著  
南部 広孝



協同出版



**協同出版**

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5 TEL 03 (3295) 1341 FAX 03 (3233) 0970

ホームページ <http://www.kyodo-s.jp>



株式会社丸山園茶店 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 2-2-20 電話 04-2941-5091 FAX 04-2941-5091

## 2019年6月1日 あさくさ鍼灸整骨院 開院！



**場所** 東京都台東区駒形1-4-2-101  
(都営浅草線 浅草駅A1出口 徒歩3分)

**受付時間** 9:00~20:00 月~土・祝

**休診** 日曜日 (祝日は開院しています)

**症状** 肩こり・腰痛・膝痛・スポーツ外傷

**施術内容** 背骨骨盤矯正・ねこ背整体  
マッサージ・ダイエット・鍼灸

お問い合わせ先

**03-5246-4867**

**施術体験 実施中**

各種保険取り扱い・交通事故

輝く子どもの未来を応援します！ We support the future of children in Fuchu.

# 特定非営利活動法人 地域教育ネット

Education of excellence  
for all children in Fuchu!

## 法人の理念

### 府中の子どもたちに卓越した教育の機会を！

- ・すべての子どもが自己実現に向けて前進できるように「協働」「コミュニケーション」「安心感」のある場を提供します。
- ・他の団体と連携し地域教育の普及と推進に寄与します。
- ・教育格差の解消に取り組みます。
- ・地域教育を支える人材を育成します。
- ・将来の進路、学習意欲向上のための情報を発信します。



## 活動内容

★生徒・保護者のための  
高校進学説明会・相談会

★中学校放課後学習活動  
FLYフライ  
-Fuchu's Leadership Program for Youths

★人材育成のための研修会  
学修会



## インターン生を募集しています！

地域教育や地域協働に広く関心のある学生を募集しています！

## ご支援のお願い

### その1 個人会員として

正会員(入会金1,000円/年会費3,000円)  
賛助会員(入会金1,000円/年会費5,000円)

### 団体会員として

正会員(入会金3,000円/年会費5,000円)  
賛助会員(入会金3,000円/年会費30,000円)

### その2 寄付金 一口3,000円

その3 物品・人材 未使用の文具や教材/法人への参加



皆様のご支援が必ず子どもたちの未来を輝かせる「光」になります。



理事長:岡田昭人/副理事長:木村巨/理事:小山有彦/理事:辻由美  
/理事:瀬戸綾/理事:柴繁美/監事:佐々木亮

住所:〒183-0014 東京都府中市是政5-7-10 アイランドビル  
電話:080-9341-4463 メール:npoknet.jp@gmail.com  
URL:http://fuchu-education.net

## 日本比較教育学会 第 55 回大会準備委員会

実行委員長：岡田 昭人

副委員長：津村育子

委員：鴨川明子	川崎妙美
重松香奈	陳要勤
道日娜	中村理香
ナンディン	白双竜
頼ユエン	ウロルボエヴァ・ディルショダ・ガイブラエウナ
ソロンゴ	林静
陳セン	

---

発行：日本比較教育学会第 55 回大会準備委員会

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3 丁目 11-1  
東京外国語大学・岡田昭人研究室気付  
日本比較教育学会第 55 回大会準備委員会 宛

E-mail: [jces55tufs@gmail.com](mailto:jces55tufs@gmail.com)

URL: <http://www.gakkai.ne.jp/jces/taikai/55/>

---